

## I T Eと日航インター 世界で初めて開発

## 最長120時間 定温輸送技術

アイ・ティー・イー（I T E、東京都千代田区）は、日本航空インターナショナルと共同で、低環境負荷・高精度・低コストの定温輸送技術を開発した。外部環境が大きく変化する航空輸送では難しいとされてきた生鮮食品や医薬品などの高品質な空輸を実現できる。日航は荷主ニーズにきめ細かく対応する世界初のエコ航空物流サービス「J-Solution Service」（仮称）として7月から提供を始める。

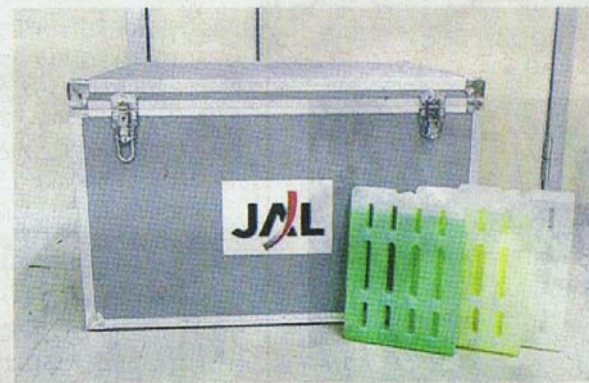
日航の定温輸送サービスは、I T Eが開発した「アイスバッテリー（Ice Battery）」システムを応用。これは電気を使わない冷蔵・冷凍物流システムで、マイナス20度からプラス20度までの温度管理を最長120時間まで高精度に保つことができる。ドライアイスを使わないため大幅な二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減も可能で、地球温暖化防止にも貢献できる。

航空分野の保冷物流はこれまでドライアイスを使ってきた。

また、長時間の温度管理が困難だったため、野菜や薬品、輸血用血液など凍らせてはならない品物の長時間保冷輸送は業界の課題だった。

両社は、ドライアイスの代わりにアイスバッテリーシステムを使った航空輸送用保冷ボックス—写真—を開発。これを使うことで、120時間にわたって一定温度の航空貨物輸送を世界に先駆けて実現することになる。

荷主が指定するきめ細かな温度設定に応えることができ、高品質な輸送が可能になる。保冷



ボックスは18㏍と135㏍を用意した。

アイスバッテリーシステムの航空輸送分野での導入は初めてとなる。このため、両社は実機を使ってテスト輸送を繰り返して、長時間にわたり高精度に定温を維持できる技術と確認し、来月からのサービス提供を決めた。

I T Eのパンカジ・ガルク社長は「このサービスは、航空貨物業界で世界初のクールチェーンロジスティクス（生産者から消費者まで冷蔵・冷凍・低温の状態で一貫して流通させるシステム）となる。さらにB R I C sなど新興国市場にも展開させていく」という。

## コヤマドライビングスクール

## ハーレー教習 全校に拡大

自動車教習所大手のコヤマドライビングスクール（東京都渋谷区）は、7月1日から二子玉川校（同世田谷区）で、米国製の大型二輪車ハーレーダビッドソンを使った教習プランを始める。すでに綱島（横浜市港北区）、石神井（東京都練馬区）、秋津（同東村山市）の各校で同じプランを導入済み。二子玉川校のスタートで、全校でハーレー教習を受けられることになる。

教習は、大型二輪車（排気量400cc以上）で販売シェアトップ

のハーレーを全教習課程で（普通二輪マニュアルミッション免許保有者で12時間）使用するのが特徴。ハーレーダビッドソンジャパンと協力して専用教習車両を開発、4校で計17台のハーレーを使う。料金は国産車を使う教習と同額（例えば秋津校では7万9990円）に設定している。

ハーレーを使用する教習所はほかにもある。ただ、「多くは1台保有して、卒業検定に合格した人への試乗などがほとんど。国産の大型バイクとは構造

や乗り方が違うため、教える側も慣れていない」（田口治経営企画室長）。

二輪車の国内需要は低下する一方だが、同スクールではハーレー教習の導入を機に入校生が増えている。2009年6月に始まった綱島校では今年5月までの1年間で入校生が前年比25.3%増加、今年4月にスタートした石神井校も4月の1カ月間だけで約4割増えた。「増加分のすべてがハーレー教習ではないが、効果は大きい」（同）

同スクールでは、傘下教習所近くのホテルと提携し合宿免許プランも用意しており、今後は地方需要の掘り起こしなどにも注力していく。



橋の点検。身近なところにある構造物をみてまわる

## 橋やトンネルなどのお医者さん

橋の施工を発端とし、土木公共構造物の計画・調査・補修・補強設計を行う仕事をしてきました。その中で、これまでの経験や技術士、コンクリート診断士の資格を生かし、地元周辺の橋などの構造物に異常がないかどうかの点検を行っています。



大雨や地震の後などは、道路管理者（国土交通省や地方自治体）からの防災点検要請が、地元建設コンサルタント協会などを経て所属会社に伝えられます。われわれ技術者は、普段の仕事にやりくりをつけ、道路や河川、構造物といったそれぞれの専門に応じて、被災箇所の有無や安全上支障がないかなどの点検を防災ボランティアとして行きます。

また、自分の設計した構造物も1年に1回程度、自主的に点検しています。

皆さんは、ごく普通に道路を通り、トンネルをくぐり、橋を渡っていると思います。「この道路、穴が開くかも?」「この橋、落ちるかも?」などと思いながら通っている人はほとんどいないと思います。

しかし、道路や橋、トンネルも年を重ねて具合が悪くなったり、大雨（大雨、大地震）を患ったりすることがあります。そのようなときにも、皆さんが不都合を感じることなく生活できるように、構造物の町医者的な役割を少しでも担えたいと考えています。

「SSS進学教室」  
沖縄で初の開校

■サンマエデュケーション  
学習塾運営のサンマエデュケーションは、沖縄県那覇市に「SSS進学教室」の沖縄第1号校として「SSS進学教室」を開校した。7月1日開始の夏期講習の受付をスタート、好きな科目を3回3000円で受講できる「ピタリ、33キャンペン」を実施している。

同社は学習塾事業を中心に直

営教室の運営、フランチャイズでの加盟店の募集・運営サポートを主な業務としており、5月6日にキャタリスト証券（那覇市）を主幹事証券会社としてグリーンシート銘柄に指定。これを機に、沖縄県への学習塾展開を準備してきた。

独自のノウハウにより、個別指導を業界最低水準価格で提供し、さらに成績保証を行うなどの質の高い塾経営を行っている。今後、複数店舗の運営を目指し、沖縄県の教育環境の底上げに努めていくとしている。